

⑥ 県道新猿橋(けんどうしんさるはし)



猿橋のすぐ上流に並行してかかる鋼鉄の橋です。1934(昭和 9)年に完成し、木橋の猿橋に替わって1973年まで国道として使われました。

ここからの「名勝猿橋」の眺めはすばらしく、また、西側の歩道の欄干には二匹の猿が手と足をつないで橋を作る伝説に基づく透かしがあります。

⑦ 国鉄大原トンネル(こくてつおおはらとんねる)



中央線が単線だった時代に使われていたトンネルです。その当時、鳥沢駅を出た列車は国道 20 号北側の山沿いを 4 つの小さなトンネルを抜けながら大きなカーブを描いて走り、猿橋のすぐ下流にかかる鉄橋を渡って猿橋駅へと向かいました。

大原トンネルはその 4 つ目の最後のトンネルで、今もなお桂川に向って大きな坑口(こうこう)を開けています。また、坑口の上を通る市道(旧国道)からは坑門上部のレンガ造りの胸壁(きょうへき)と壁柱(へきちゆう)の裏側、笠石(かさいし)を見ることができます。

⑧ 国道新猿橋(こくどうしんさるはし)

1973(昭和 48)年に、猿橋下流に新しく造られた長大な橋です。上り車線側に幅 2m ほどの歩道があり、橋の中央にある展望デッキからは下流から猿橋を望むことができます。

また、水路橋の右斜め上のがけには大原トンネルの坑口が見え、左のがけ上には民家の土台として使われているレンガ造りの橋台跡を見ることができます。

博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

大月の名所をめぐる小さな旅 名勝猿橋周辺を歩いてみよう

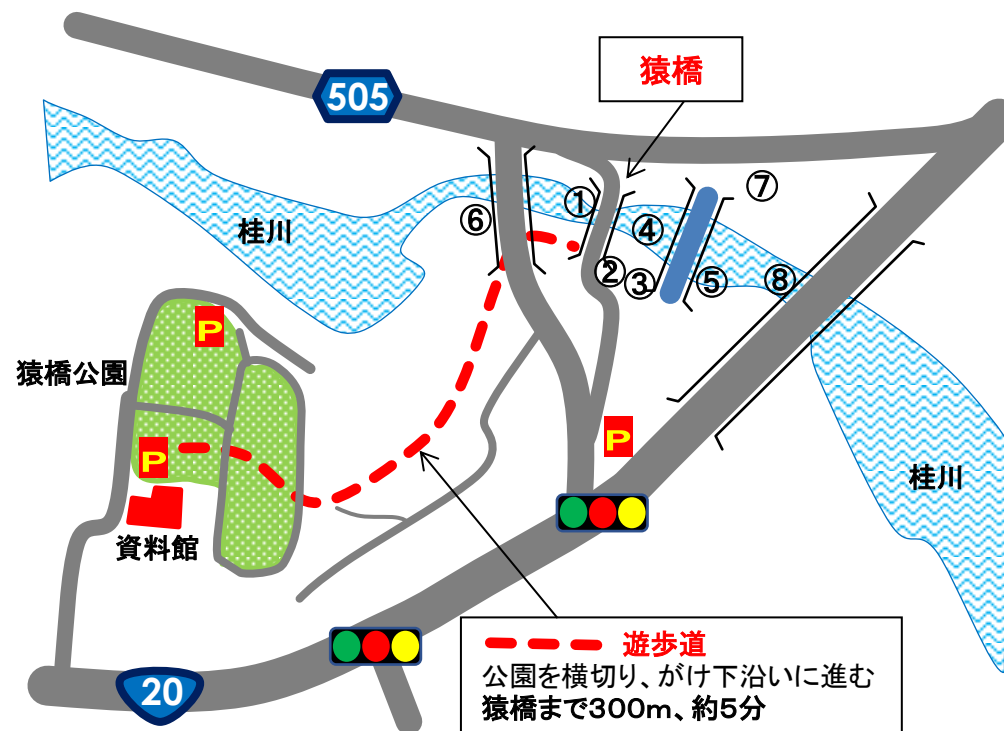


大月市郷土資料館

大月市郷土資料館は猿橋公園内にあります。知っているようで知らなかった大月のあれこれがよくわかる楽習施設です。中学生以下は無料ですので、猿橋公園に遊びに来たときには気軽に立ち寄ってみてください。待っています。

また、日本三奇橋のひとつに数えられる「猿橋」は、資料館から遊歩道を歩いて5分ほどの所にあります。奇なる橋と言われるゆえんとなったその珍しい造りの他にも、橋の周りには見所がたくさんあります。

夏休みの自由研究のネタ探しに、資料館を見学したり、このパンフレットを片手に猿橋周辺を散策したりしてみましょう。



① 猿橋(さるはし)



猿橋は、桂川の溪谷にかかる木橋です。鋭くそびえ立つ兩岸から張り出した四層の桔木(勿木 はねぎ)によって支えられるその特異な構造と、水面からの高さが約 30m もの高所に架かる姿が周囲の四季折々の景色に映えることから、江戸時代より、「岩国の錦帯橋(きんたいきょう)」

「木曾の棧(かけはし)」と並ぶ「日本三奇橋」(さんききょう)の一つとして全国に知られ、1932年(昭和7年)3月に国の名勝に指定されました。

現在の猿橋は、1984(昭和59)年に江戸時代末期の設計図をもとに復原したもので、長さ30.9m、幅3.3m、路面中央部がやや盛り上がっています。

② 猿橋記碑(さるはしきひ)



猿橋の南側のたもとに建つ記念碑です。今から250年ほど前の江戸時代の半ばに建てられました。表面には猿橋の案内文が刻まれているのですが、長い年月による風化のために文字を読み取ることはできません。

古書によると、碑文の初めの部分には、「我大日本橋梁之奇巧者周防之算橋岐岨之懸橋峽之猿橋是己」とあり、「峽之猿橋(かいのさるはし)」を、「周防之算橋(すおうのさんばし)」、「岐岨之懸橋(きそのかけはし)」とともに、「我大日本橋梁之奇巧者」、つまり日本に三つある珍しくて巧みな橋(日本三奇橋)の一つとして紹介しています。続いて、その珍しい構造を考案するきっかけとなった猿の谷渡りの言い伝えや、橋が架けられたことによって産業が発達して人々の生活が便利で豊かになったことなどが書かれています。

③ 山王宮(さんのうぐう)

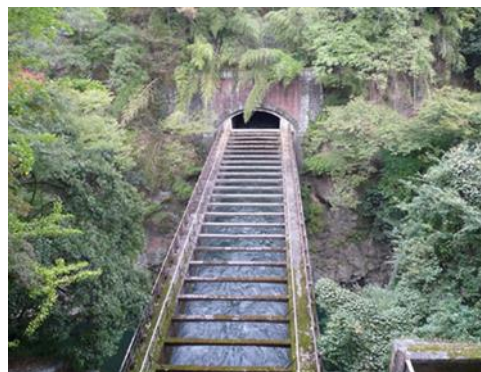
猿橋記碑の東隣に建つ小さな神社です。山梨県の自然・歴史・文化などについて江戸時代にまとめられた『甲斐国志』(かいこくし)という本には、「橋掛山王権現」(はしかげさんのうごんげん)とあり、「橋ノ鎮守ナリ」と書かれています。

刎橋のヒントを与えたといわれる白毛の老猿「猿王」の像が祀られています。毎年7月の半ばごろにお祭りが行われ、座布団の上に猿が乗った神輿(みこし)が5つの地区から集まっています。

④ 思ひ出滝(おもいでのみたき)

山王宮の東側に通る水路より水が桂川に流れ落ちていきます。いつの間からはわかりませんが、「思ひ出滝」として呼ばれ大正時代には絵ハガキにもなりました。ちなみに、この水路は「五ヶ堰」(ごかせぎ)という用水路です。

⑤ ハツ沢発電所施設第一号水路橋(やつさわはつでんしょすいろきょう)



猿橋のすぐ下流に、鉄筋コンクリート造の水路橋が架かっています。

1912(明治45)年6月、駒橋発電所の下で取水した水を、上野原市のハツ沢発電所に送るために建設されました。

この橋を含め、取水口施設、調整池からハツ沢発電所裏山の貯水槽までの14kmもの範囲にある水路施設は、2005(平成17)年に「技術的に優秀なもの」として国の重要文化財に指定されました。

その中でもこの第1号水路橋は、日本で最初期の本格的な水路用コンクリートアーチ橋であるとともに、当時の鉄筋コンクリートアーチの中でアーチ区間の長さが最大のものであるとして高い評価を受けました。

大月市内にはこの水路橋のほか、水路やレンガ造りの水路橋、隧道(トンネル)などの施設をたくさん見る事ができます。